商学部における特色ある学部教育の補助
「学部授業への授業特別協力者（ゲストスピーカー）依頼」 報告書

テーマ　：	食品メーカーによる流通との関係づくりと需要創造型マーケティング					
科目名　：	マーケティング・チャネル論					
担当教員：	寺本　高					
実施日：	2025年10月24日(金)	時限：	3	時限目　実施教室：	8104	教室

実施趣旨（目的）
メーカーのチャネル管理と他のマーケティング戦略（製品，プロモーション）の実践事例として実務家から実体験を交えたリアルな解説をいただくのが目的である。

実施結果

　宮地氏より以下のアジェンダで講義をいただいた。
１経歴のご紹介，２マーケティングにおけるチャネル戦略，２メーカー勤務時代の需要創造事例①瀬戸内レモン，②野菜を取ろうキャンペーン

　本講義内での今回の特別講義の位置づけとして，食品メーカーの大半が「管理型チャネル」を展開する中で，チャネルの構成員である取引先卸売業者，小売業者に対して自社商品を販売してもらうためのモチベーションづくりを進める先進的な事例として扱った。

　講義内容からの示唆として，大手コンビニエンスストア，スーパーマーケットなど小売業者のパワーが強くなっている中で，メーカーがこのような強力な小売業者と連携して取り組んでいくためには，①消費者からの支持のある強力なブランドを持つこと，②そのブランドをプッシュ型ではなくプル型のマーケティングを目指すこと，③そのプル型マーケティングからもたらされる世間での話題性から小売業としてこのブランドを扱わざるを得ない，ぜひ扱いたいという意向を導き出すこと，が挙げられる。これらの点を受講生各自がしっかり考察するために，次回講義までに提出するレポートを課した。

　質疑応答の時間帯には4名の受講学生からたいへん有意義な質問があり，より講義が盛り上がったとみられる。実際の受講者数は履修登録者の6割程度の約90名である。